

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

# 報 告 書

平成30年10月

常総市教育委員会

## 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価の概要

### 1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果について報告書を議会に提出するとともに公表する。

### 2 点検・評価の対象

平成29年度常総市教育運営方針に掲げる事務事業

### 3 点検及び評価の方法

- ①平成29年度常総市教育運営方針の重点事項に対する主な取組、成果等を取りまとめ、常総市教育審査委員の総合的な評価を受けた。
- ②平成29年度常総市教育運営方針に基づく当該年度の事務の管理及び執行の状況を項目別に整理し、達成度を3段階で自主点検するとともに、これに対する今後の方向性を示した上で、常総市教育審査委員がその有効性を3段階で評価し、意見等を付した。

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施したので、次のとおり報告する。

平成30年9月25日

常総市教育審査委員 梅 澤 浩

常総市教育審査委員 吉 原 寛 規

## 各施策目標の重点事項に対する主な取組, 成果等及び教育審査委員の評価

### 1 未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実

- 学習指導要領改訂の方向性を踏まえ、確かな学力を身に付けさせる指導を充実し、教員の指導力の向上と指導のための環境整備、拡充を図る。(指導課)

#### 【主な取組, 成果等】

- ・計画訪問や要請訪問等を通して、新学習指導要領に向けた移行措置の内容の周知徹底を行ったほか、主体的・対話的で深い学びに向けた教科・領域の指導の在り方について助言を行った。
- ・市内独自研究発表該当校に対して助言を行い、新学習指導要領の方向性を踏まえた授業スタイルの確立や授業力の向上を図った。
- ・全国学力・学習状況調査の問題の分析をもとに、今求められている学力を捉え、その定着に向けた指導の在り方について研修を行った。
- ・学力向上対策事業『Basic Training』を実施し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図った。

- 教科指導をはじめとしたICT活用の推進を図る。(指導課)

#### 【主な取組, 成果等】

- ・ICTを活用した授業の推進に向け、その有効な活用方法について、研修会を行うと同時に、学校訪問時に指導助言を行った。
- ・市内小中学校におけるICT活用の実践を学校訪問時に他校に紹介した。

- 土曜日補習教室(常総ほっとサタデー教室)を充実し、学習につまずきがみられる児童に対して、学校や保護者との連携を図りながら学習支援を行う。(指導課)

#### 【主な取組, 成果等】

- ・継続実施会場の水海道地区2校(水海道小・豊岡小)、石下地区2校(石下小・岡田小)に加え、平成30年度は絹西小学校に増設を予定している。土曜日は公共施設(市立図書館・石下総合福祉センター)にて継続実施し、設置校以外の児童の通室の利便性を図った。

### 2 安全でいきいき学べる教育環境の創造

- 学校施設の老朽化対策等を進め、安全でいきいき学べる教育環境の整備を推進する。(学校教育課)

#### 【主な取組, 成果等】

- ・水海道中学校及び水海道西中学校2校の屋内運動場の長寿命化工事を実施するための実施設計業務を行った。

○ 危機意識を育てる防災教育を推進する。(指導課)

【主な取組, 成果等】

- ・防災教育委員会による防災教育推進のための取組を推奨し, 教職員の防災教育の指導力の向上と児童生徒の防災意識の向上を図った。  
( 第1回 6月2日 第2回 6月28日 第3回 10月3日 )
- ・防災教育講演会(11月29日)実施の推進と教職員の参加を推奨し, 災害発生時の管理体制や発達段階に応じた防災教育への理解を図った。
- ・市内一斉防災学習の充実と取組への意識向上を図った。

### 3 市民の豊かなくらしを支える生涯学習の推進

○ それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会を充実させ, 生涯にわたる学習の継続による一人ひとりの資質・能力の向上を目指す生涯学習を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

前期(6月~11月)後期(12月~3月)に分けて, 教養講座(市民大学, 文学・歴史各コース)や健康講座, 趣味の講座など32の教室を企画し実施した。

○ 関東・東北豪雨災害により被災した大生公民館の建設を進める。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

水害により建替え工事を進めていた大生公民館が平成30年1月に竣工し, 被害を受けた生涯学習施設のすべてが再開した。

○ 市民の自主的文化・芸術活動を支援する。また, 再生の出来ない郷土遺産の保全, 歴史的建造物, 資料等の利活用を推進する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

- ・「長塚節文学賞」の作品を広く募集し, 入選作品集の刊行も行うなど「節のふるさと常総」の文化を全国に発信した。
- ・21回目となる「篠山木挽き唄全国大会」を開催し, 木挽き唄の普及, 保存伝承を図った。
- ・市民文化祭を開催し, 市民の文化芸術の発表の場として, 文化・教養の向上と文化団体の育成を図った。

○ 青少年育成常総市民会議や青少年相談員の全市的な連携, 子ども会組織の円滑な運営を支援する。(生涯学習課)

【主な取組, 成果等】

- ・青少年育成常総市民会議と青少年相談員会の共催による「少年の主張大会」を開催し,

青少年の広い視野をもった考え方や柔軟な発想力・想像力の向上を図った。

- ・常総市子ども会育成連合会においても「子どもまつり」、「サマーキャンプ」等を開催し、様々なスキルを体得させ心身ともに健やかな青少年の育成を図った。

#### 4 市民の健康を増進する生涯スポーツの振興

- 誰もが生涯を通じてスポーツを楽しみ、健康づくりを進める生涯スポーツ社会の実現を目指し、スポーツ環境の整備並びに指定管理者との連携による社会体育施設の管理運営に努める。(スポーツ振興課)

【主な取組、成果等】

- ・利用者への安全で安心なスポーツ環境の提供を目的とし、指定管理者との連携を図り、吉野サン・ビレッジサッカー場人工芝の全面張替工事及びきぬ温水プールのろ過装置ろ材交換工事を実施した。
- ・平成31年に開催されるいきいき茨城ゆめ国体ハンドボール競技会場整備として、水海道総合体育館の照明設備改修工事を実施し、競技環境の充実を図った。

- スポーツをとおしてふれあい、市民相互の交流活動を促進する魅力あるスポーツイベントを開催する。(スポーツ振興課)

【主な取組、成果等】

- ・茨城国体記念 第44回常総市長杯争奪茨城県中学校ハンドボール大会を開催  
平成31年に開催されるいきいき茨城ゆめ国体開催気運の高揚のため、開会式及び表彰式において、開催PR活動を実施した。
- ・平成29年度 親子deいきいきスポーツフェスタの開催  
地域活性型の事業として、親子で参加できる体験型スポーツイベントを開催し、スポーツをとおし、市民の交流の場を提供した。

#### 5 健康を増進する食育の充実

- 安全・安心な学校給食の提供と食育の更なる推進を図る。(学校給食センター)

【主な取組、成果等】

- ・給食業務従事者に対し通常の保菌検査(毎月2回)やノロウイルス検査(10月～3月の6か月間、毎月1回)を実施した。また、給食の食材に対し放射能検査を月14回程度実施し、安全安心な学校給食を提供した。
- ・常総市産の旬の食材を活用し、地産地消の推進を図った。
- ・玉学校給食センターでは、平成30年4月からの調理等業務の民間委託にあたり、指名競争入札により3年間の委託契約を締結した。
- ・栄養教諭を中心に、給食時訪問、家庭教育学級(講話)、親子給食、給食ふれあい体験

を実施し、児童生徒及び保護者等への食育の推進を図った。

## 6 心豊かにする読書教育の充実

### ○ 本に親しむ習慣の定着と質・量の向上を図る。(指導課)

【主な取組, 成果等】

- ・「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の推奨により、児童生徒の読書活動の充実を図った。
- ・国語科教科書教材との並行読書を授業に取り入れ、児童生徒の生涯にわたる読書に親しむ姿勢や読書の楽しさを実感させる指導の充実を図った。

### ○ 図書館の開館35年目を迎え、また、水害復興からの更なる出発点として記念講演等を実施し、図書館の活動を市民にPRし利用者の拡大を目指す。(図書館)

【主な取組, 成果等】

- ・本に親しむ習慣の定着と質・量の向上を図るため、市保健推進課と連携し、12か月児とその保護者を対象として、絵本を介しての親子のふれあいを目的とした「ブックスタート」を、常総市保健センターにおいては月1回、石下総合福祉センターにおいては年4回行った。(参加者は、合計で395組)
- ・小学生以下とその保護者を対象とした、ボランティア団体等との連携による絵本の読み聞かせを行う「おはなし会」を毎月開催した。(延べ135人の参加) また、職員による絵本の読み聞かせや手遊びなどを行う「赤ちゃんと遊ぼう」を年間で6回開催した。(28組62人の参加)
- ・利用者の読書意欲を少しでも高めるために、図書館内において、季節や時事などに合わせた本の特集コーナーを月ごとに設け、また、市図書館のホームページにより広報し、本に親しむ機会とした。
- ・読書教育活動への支援を目的とした市内各小中学校への配本が、平成29年度で一巡し、平成30年度からは希望された学校に対して行っていく予定である。ただし、各保育所や公立幼稚園については、引き続き2ヶ月ごとに巡回していく。
- ・平成29年度は図書館の開館35周年にあたり、その記念事業として、直木賞作家の道尾秀介氏や人気絵本作家の宮西達也氏を招いて講演会を2回開催し、それぞれ市内外からの参加(どちらも120名以上の参加者)があり盛況を得た。

## 7 安心して子育てできる就学前教育の充実

### ○ 小学校への円滑な接続を見通した就学前教育を推進する。(指導課)

【主な取組, 成果等】

- ・公立幼稚園への計画訪問、要請訪問を通して幼児教育の重要性と指導力の向上を図っ

- た。
- ・各公立幼稚園，各小学校の計画訪問，要請訪問，授業研究発表会において，相互授業参観を実施し，幼児児童の育ちの姿を共有する機会とした。
  - ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を通して幼児教育施設と小学校の円滑な連携，接続を推進した。
  - ・「幼児教育と小学校教育の接続のための研修会」を開催し，幼児教育施設と小学校間の取組や保育の在り方についての相互理解を図った。

#### ○ 親子の絆づくりを考えた就学前家庭教育の充実を図る。(生涯学習課)

##### 【主な取組，成果等】

- ・公立幼稚園5園において家庭教育学級を開催し，子どもとのかかわりや家庭生活のあり方を学習し，家庭教育力の向上を図った。
- ・地域交流センターを中心に「凧づくりとシャボン玉づくり」や茨城県近代美術館より10点の絵画を借用，展示した「ハローミュージアム」を開催し，親子での体験活動を通して，その絆づくりを行った。

#### ○ 公立幼稚園の統合を推進する。(学校教育課)

##### 【主な取組，成果等】

- ・庁内関係課と公立保育所も含めた保育・教育施設のあり方の検討を行い，5月に，公立保育所も含めた今後の施設運営の方向性について，市内の幼保事業者へのヒアリング調査を実施した。それらの結果や幼児数の推移，公立幼稚園の役割等を再検討し，東部地区1園，西部地区1園の既存園舎を大規模改修（耐震改修やエアコン整備等）し，統合する方針案を決定した。



## 総合評価

### **「未来に夢をもち 「生きる力」を育む 学校教育の充実」について**

- 新学習指導要領の趣旨を理解しカリキュラムを編成することが重要である。各校の教育目標の再点検も必要になってくる。特に基礎学力の向上と個に応じた指導に重点をおいていただきたい。
- 学習のつまずきは問題行動につながりやすい。その前のフォローが大切であり、個に応じて展開することが重要である。そのための方策として進められている土曜日補習教室（常総ほっとサタデー教室）は、有効な取り組みと考える。また、児童に対する学習支援だけでなく、保護者に対する教育相談の場になっていることも望ましい在り方であると思う。
- タブレット型パソコンの整備はICT教育の要請である。ICTの推進においては、セキュリティに十分な注意が必要である。

### **「安全でいきいき学べる教育環境の創造」について**

- 保護者の最大の願いは、我が子が元気に登校し、通学路も安全で元気に帰宅することである。通学路はもちろんのこと学校は安全安心な場所でなければならない。
- 東日本大震災や関東・東北豪雨災害は、まさに想定外の出来事であった。その経験を踏まえて、いつ起こるかもしれない災害に備えるための危機意識を育てることは、今日的な重要課題である。命を守る防災教育の充実を図っていただきたい。

### **「市民の豊かな暮らしを支える生涯学習の推進」について**

- それぞれのライフステージに応じた多様な学習機会の提供は、市民の希望するところであり、さらなる努力を願う。
- 郷土の宝である歴史文化資料の保護、保全並びに広報活動を積極的に行ってほしい。それは市民の郷土愛を育む有効な手立てであると考えます。
- 青少年育成常総市民会議における石下支部の設立を願う。全市的な取り組みが必要とされるので早急な対応を望む。
- 関東・東北豪雨で被災した大生公民館の建替えが、平成30年1月に竣工した。水害の経験を生かして、災害に備える機能も工夫された公民館として再生できたことを高く

評価したい。

### 「市民の健康を増進する生涯スポーツの振興」について

- 生涯スポーツは、本人の自発性が基本である。その前提として施設の充実や環境の整備が大切である。誰でもいつでもスポーツに親しめる環境の提供を願う。  
また、吉野サン・ビレッジサッカー場の人工芝全面張り替え工事が、最近の異常気象なども考慮して進められたことは、良い工夫であると思う。
- 指定管理者の導入はメリットが大きいため歓迎である。
- 平成31年度の国民体育大会の準備が着実に進められていることに敬意を表す。大会の成功を願う。

### 「健康を増進する食育の充実」について

- 学校給食は児童生徒の生命がかかっている。児童生徒のアレルギー対応はもちろんのこと、学校給食衛生管理基準等に基づいて徹底した衛生管理に努めてほしい。
- 学校給食センターの調理等業務の民間委託については、その実施状況を的確に把握して、結果の検証を着実にを行うことが重要であると考えます。

### 「心豊かにする読書教育の充実」について

- 図書館は市民の情報、教養、娯楽の宝庫であると同時に生涯学習の中核的存在である。市民のニーズに応え、さらに充実した図書館の管理運営にあたっていただきたい。
- 本に親しむ習慣をつくるために、12ヶ月児とその保護者を対象とする「ブックスタート」、小学生以下とその保護者を対象とする「おはなし会」を行っているのは良い企画であると思う。小さな子が本に親しむ機会を設けることは、「読書意欲の高い人づくり」につながるのではないかと考える。

### 「安心して子育てできる就学前教育の充実」について

- 指導者は「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」をよく理解し、一人ひとりを観察し、小学校への円滑な接続を図ってほしい。
- 幼稚園の統廃合は、地域住民との意思疎通を十分に行い、摩擦が最小限になるような取り組みが求められる。

## 個別事業に対する主な取組, 成果等及び教育審査委員の評価

<b>達成度</b> 計画又は目標を	<b>有効性</b>
○ 達成又は概ね達成	◎ 成果がある
△ 及ばず	○ 一定の成果がある
× 実施できず	× 成果がほとんどない

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
1 未来に夢をもち「生きる力」を育む 学校教育の充実						
①学校教育内容の充実						
	新たな教育課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自の学校活性化加配講師, 教育補助員や外国人児童生徒支援員の配置</li> <li>・少人数指導や習熟度別指導などによる「個に応じた指導」を実践</li> <li>・適応指導教室と学校との連携強化</li> <li>・不登校児童生徒の解消に向けた取組</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に理科, 英語に教科担任制の導入を望む。</li> <li>・新学習指導要領の趣旨に則り, カリキュラムの編成を願う。</li> <li>・加配講師, 補助員, 支援員, カウンセラーなどの配置に積極的に取り組み, 児童生徒の実態, 学校の規模にあった対応を望む。</li> </ul>
	基礎学力の向上	「Basic Training」を実施し, 算数・数学の基礎学力の定着を図る。	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Basic Training」を充実し, 児童生徒に達成感の喜びを与えるきめ細かい指導が大切である。</li> </ul>
	体験的地域学習の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生議会の開催</li> <li>・地域の特色を生かした体験学習の充実</li> <li>・討議する活動や問題解決的な学習の推進</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「Basic Training」を充実し, 児童生徒に達成感の喜びを与えるきめ細かい指導が大切である。</li> </ul>
	高度情報化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用の推進</li> <li>・H29.8 市教育研究会と「コンピュータ研修講座」(タブレット活用, 校務支援システム, エクセル活用)を開催した。</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の流れに乗り遅れないようにICT活用のさらなる推進を望む。</li> </ul>
	交流教育・国際理解教育の推進	ALTの活用による幼稚園からの英語活動の充実	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒は教師からの影響が大きい, 特に経験の浅い若手職員の育成にさらに取り組んでほしい。</li> </ul>
	特別支援教育の充実	一人一人の教育的ニーズに応える教育支援	○	継続	◎	
	教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要請訪問等での授業公開</li> <li>・JOSO若手教員アガメニ(研修会)の拡充</li> <li>・学力向上プロジェクト事業による各学校の学習指導の改善</li> </ul>	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学校事務の共同実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同実施も5年目になり、各グループにおける役割も定着し、それぞれの立場で積極的に活動できるようになった。</li> <li>・今年度も市内2つの共同実施グループに分かれ、事務書類の相互検閲、経験の浅い事務職員への支援、児童生徒の転出入事務資料の整備支援、スキルアップ研修などを実施し、年度当初のテーマ「確実な事務処理を目指して」のとおり、正確性を追求した活動ができた。</li> <li>・「joso若手教員アカデミー」において、若手教職員への旅費・福利厚生事業等の講座を実施し、職員の資質向上に寄与した。</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人職である各校の事務職員が共同で事務処理を行うことにより、相互の力量を高めあう場になっているのではないかと思われる。引き続き、事務職員へのソフト、ハード両面からの援助を願う。</li> </ul>
②健康な児童生徒の育成						
	教育相談の充実	児童生徒のカウンセリング体制の充実	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かしの木スクール、スクールライフサポーターのさらなる充実を望む。</li> <li>・問題行動を示す児童生徒に対しては保護者との同時進行で面談を進めるため、訓練を受けたスクールカウンセラーの常駐が望ましい。</li> </ul>
	体力向上及び健康管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育的行事の奨励</li> <li>・運動部活動の充実と効果的な指導</li> </ul>	○	継続	◎	
	基本的な生活習慣の確立と豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進</li> <li>・あいさつ運動や読書活動等による基本的な生活習慣の定着</li> </ul>	○	継続	◎	
③高校・高等教育との連携						
	地域活動との連携	高等学校が主催する弁論大会における審査員（指導主事）の派遣	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の高校の実態を理解させるためにも連携を活発にしていたきたい。出前授業、市内高校主催の弁論大会への参加、高校生の指導によるクラブ活動の展開、高校生との勉強会等積極的な交流が必要である。児童生徒に地元の高校を理解させることが郷土愛にもつながる。</li> <li>・形骸化している市リーダーズ高校生会の充実が望まれる。</li> </ul>
	高等教育機関等との連携	茨城大学及び筑波大学と連携した防災教育の推進	○	継続	◎	
	連携した事業の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の事業「学びの広場サポートプラン」（小学校・中学校）へ高校生ボランティアの派遣</li> <li>・小中学校間の教師、児童生徒の交流授業や訪問活動</li> <li>・中学校教諭による小学校での出前授業の実施</li> <li>・さわやかマナーアップ運動の小中合同での挨拶運動の実施</li> </ul>	○	継続	◎	
	協力して進める行事等	市内一斉防災学習・学校行事等での積極的な交流	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
2 安全でいきいき学べる教育環境の創造						
①学校教育環境の整備						
	学校施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水海道中学校屋内運動場 長寿命化実施設計業務委託 4,364千円</li> <li>・水海道西中学校屋内運動場 長寿命化実施設計業務委託 3,510千円</li> </ul>	○	文科省が推進する長寿命化対策により、学校施設をできる限り長く使用できるような改修を計画的に行っていく。	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の「長寿命化対策」が計画的に進められていてよい。児童生徒の学校生活をより安全・快適にするために努力を続けてほしい。</li> <li>・通学路の安全確保のために、危険箇所の安全対策をさらに進めてほしい。地権者等との関係で困難な箇所もあるようだが粘り強く取り組んでほしい。なお、どうしても解決困難な場合は、通学路の変更などを学校・保護者等と協議する必要もあるのではないかと思います。</li> </ul>
	教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報通信センターシステム、校務支援システムの運用により、学校情報化及び教職員の業務の軽量化を図った。 学校情報システム保守経費：12,291千円 校務支援システム運用経費：2,433千円 情報機器、ソフト借上：85,439千円 (教育用パソコン890台(内タブレット652台)、校務用パソコン495台、サーバ、ネットワーク機器等)</li> </ul>	○	教育情報化推進計画に基づき、教育の情報化を計画的に推進する。	◎	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般備品購入 9,321千円</li> <li>・教材備品購入 15,824千円</li> <li>・図書購入 5,247千円</li> </ul>	○	継続	◎	
	学校の安全対策強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>危険箇所及び老朽化した施設の修繕を実施した。</li> <li>工事件数：小学校 161件 中学校 50件</li> <li>工事費：小学校 26,344千円 中学校 6,753千円</li> </ul>	○	予算の確保に努めるとともに、長寿命化計画に準じた校舎等の改修を推進していく。	◎	
	通学環境の整備	「常総市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路安全推進会議を開催し、通学路の安全確保等について協議するとともに、通学路の合同安全点検を実施した。危険箇所のうち18ヶ所について安全対策を実施	△	関係機関や関係課と連絡を密にし、通学路の安全確保に努める。	○	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②防災・安全教育の充実	・市内一斉防災学習の実施 ・下館河川事務所との連携によるマイタイムライン作成の実践	○	継続	◎	・関東・東北豪雨災害を経験し、防災教育の必要性を痛感する。体験を風化させないためにも地元の関係機関と連携して防災学習、訓練を学校行事として位置づけ、定期的、計画的に実施する必要がある。	
③地域と連携する学校運営	・地域企業の協力による職場体験学習の実施 ・登下校の見守り体制の整備	○	継続	◎	・学校ホームページや回覧板等で積極的に情報を発信し、地域に愛され、期待され、信頼される学校づくりを願う。	

3 市民の豊かな暮らしを支える生涯学習の推進						
①生涯学習の充実						
推進組織づくり	・地域女性団体連絡会をはじめ諸団体への活動支援。 ・地域連携事業における地域で活躍する人材の確保および指導者としての活用。	○	継続	◎	・開設される講座のマンネリ化や受講者の固定化等が問題として出ている。特に開設講座の見直し等改善の余地があるのではないか。 ・広報紙、ホームページ、チラシによる広報は大いに役立っている。 ・地域交流センターを利用した自主企画事業への市民の関心は高いので継続して質のいい事業の計画を望む。	
学習情報の提供	広報紙やホームページ、全戸配布チラシを活用し、講座の受講生募集やイベントの案内等情報を提供。	○	継続 H30からは各施設の利用団体(サークル)をリスト化し、広く紹介	◎		
災害復旧の推進	H30. 1. 28大生公民館が竣工し、失われていた地域住民のコミュニティ活動の拠点を再生。	○	有事の際にも機能する特徴ある施設として、様々な学習機会の活用を図る。	◎		
学習施設の機能充実	交流拠点としての整備や老朽化等による不良個所の修繕を実施。 ＜地域交流センター＞ H28から国の交付金を活用し、展示室内を全面リニューアル ＜公民館・集会所・文化センター＞ トイレ、エアコンの改修と床張替等を実施	○	計画的に修繕を実施していく。 H30. 生涯学習センターおよび地域交流センターの漏水工事を実施予定。	◎		
施設の有効利用	各種講座・イベント・団体の研修等による利用のほか、講演会や音楽会、学習成果の発表・展示の場として施設を活用	○	引き続き施設の有効利用を図る。	◎		

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学習プログラムの提供	前年度から継続して実施した各種講座や教室に加えて新規に8講座を開催	○	受講者の意見やアンケート結果を反映した講座を開催。	◎	
	自主企画の推進	地域交流センターホールを会場に、自主事業を実施。 ・親子映画会 ・茨城県警察音楽隊演奏会 ・映画上映会&講演会 「ビリギャル」 ・映画上映&落語 「サクラ花」	○	継続	◎	
	地域課題対応の活動推進	市内小中学校(19校)において家庭教育学級を実施	○	継続	◎	
	公民館活動の推進	公民館まつりの開催及び各公民館バスハイク等の自主事業を実施	○	継続	◎	
②地域文化の醸成						
	文化芸術振興計画の策定	文化芸術振興基本法の一部が改正されたことに伴い、市条例の一部も改正。これにもとづく計画の策定を準備中	△	引き続き作業を進め、早期策定を目指す。	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形骸化している文化芸術振興審議会の活性化を期待する。</li> <li>・市民文化の向上、各文化団体の育成には市がリーダーシップをとり、鑑賞の機会を提供したり、各文化団体を支援したりすることが重要である。</li> <li>・身近にある文化財である「長塚節生家」、「坂野家住宅」等を訪ねる催しを春秋の年2回ぐらい企画してほしい。</li> </ul>
	文化事業の推進	市民文化祭を開催し、文化団体の活動発表の機会を提供。また、文化協会の主催する「芸術文化のつどい」を支援	○	継続	◎	
	地域文化情報の発信	長塚節文学賞や篠山木挽き唄全国大会を開催し、地域の情報を広く発信した。	○	継続	◎	
	郷土遺産の調査・保護の充実	国指定重要文化財「坂野家住宅」の主屋屋根の現況を調査し、損壊箇所には差茅等の修繕を行った。また、県指定文化財「長塚節生家」の庭園や周辺環境整備を地元協力者と連携して実施し、文化財の保存に努めた。	○	郷土の偉人を研究する団体等とも情報共有し、継承や発信方法を検討	◎	
	歴史文化等資料の整備と情報提供	H28に続き、市所在の歴史資料、文化財等のデジタルアーカイブ化の取組みを継続し、デジタル化の作業を行った。	○	引き続きデジタルアーカイブ化による情報発信を進める。	◎	
③青少年の育成						
	関係機関・関係団体との連携	茨城県及び公益社団法人茨城県青少年育成協会との連携を図り推進した。	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年の問題行動を把握するには関係機関との連携が必須である。情報交換を密にし、問題行動の未然防止に努めてほしい。</li> <li>・石下地区の青少年育成常総市</li> </ul>
	育成組織の強化	青少年健全育成のための団体活動を支援しているが、青少年育成常総市市民会議においては石下支部が未設立である。	△	石下地区での支部設立を図る。	×	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	学校・家庭・地域との連携	放課後子供教室を開催 市内14小学校のうち12校で開催	○	継続	◎	民会議の未設立は理解ができない。必要性がなければ未設置でいいのだろうが全市的な取り組みなので早急な対応を望む。
	活動企画の充実	ふれあいサマーキャンプを実施し、体験活動をとおして健全育成を図った。また、リーダーズ高校生会とも連携し、活動の充実も図った。	○	継続	◎	
	地域環境の改善	青少年相談員による街頭指導活動や青少年育成常総市民会議各支部による「あいさつ声かけ運動」の実施及び通学路の安全点検を実施	○	継続	◎	



区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
4 市民の健康を増進する生涯スポーツの振興						
①スポーツ施設の有効利用						
	スポーツ施設の整備・充実	<b>【指定管理施設整備事業】</b> ○水海道総合体育館 10件 16,708,735円 ○きぬ温水プール 9件 5,528,316円 ○石下総合体育館 2件 1,041,200円 ○石下球場 1件 124,200円 ○石下テニスコート 1件 226,800円 ○吉野サン・ビレッジ 3件 106,134,840円 総合計 129,764,091円  <b>【指定管理外施設整備事業】</b> ○天満運動場, 三妻プール他5件 1,114,171円	○	指定管理者との関係を密にし、利用者への安全、安心なスポーツ環境の提供と満足度の向上を目指し、計画的に整備事業を継続していく。	◎	・指定管理者との連携により、専門的な知識を生かした施設整備事業が進められていることを高く評価したい。 ・指定管理者の導入により質の高い施設の運営管理が行われ、また費用削減につながっていることは有効な工夫であると考える。
	学校体育施設の開放	○開放対象施設 ・小学校14校, 中学校5校 ○開放時間 ・小学校体育館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・小学校校庭 平日 18時～22時 (大生小, 飯沼小のみ) 土日祝 8時～17時 ・中学校体育館・武道館 平日 18時～22時 土日祝 8時～22時 ・中学校校庭 8時～17時 ○使用団体数 81団体 ○利用者数 ・体育館 60,703人 ・校庭 9,385人 ・武道館 10,174人	○	市民の身近なスポーツ施設として、今後も利用者は増加していくものと思われるため、円滑な開放事業の運営を継続していく。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	施設管理・運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○指定管理者による施設の運営管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理施設の利用者数 256,201人</li> <li>※対前年度 98%</li> <li>・自主事業（スポーツ教室及びスポーツイベント）開催実績 年間42教室開催 参加者数 3,779人</li> </ul> </li> <li>○指定管理者による施設整備実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備件数 79件</li> <li>・整備経費 3,017,437円</li> </ul> </li> <li>○指定管理料 97,000,000円</li> </ul>	○	民間の質の高い、サービスの提供を促し、より多くの市民がスポーツを身近に感じられるよう協力し、継続していく。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②指導者・活動団体への支援						
	指導者への支援と確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>○スポーツ推進委員活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬 @30,000×17人=510,000円</li> <li>・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>①市民歩く会 引率指導</li> <li>②親子deいきいきスポーツフェスタ 係員協力</li> <li>③全国スポーツ推進委員研究協議会 茨城大会係員協力</li> <li>④その他 各種研修会への参加</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○スポーツ少年団指導者育成及び確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・県スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会への参加促進 3会場開催 8人参加</li> </ul> </li> <li>○スポーツ教室における指導者活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>①柔剣道教室（体育協会石下柔道部 石下剣友会指導者）</li> <li>②レディースゴルフ教室（体育協会ゴルフ部）</li> <li>③健康水泳教室（スポーツ推進委員）</li> <li>④ジュニアハンドボール教室（スポーツ少年団ハンドボール指導者）</li> <li>⑤太極拳教室（体育協会太極拳部）</li> <li>⑥卓球教室（体育協会卓球部）</li> <li>⑦硬式テニス教室（体育協会テニス部）</li> </ul> </li> </ul>	○	国体やオリンピック開催を間近に控え、スポーツに対する関心の深まる中、市内各種スポーツ団体に対し、スポーツに係る情報を積極的に提供し、指導者の養成と資質の向上に努める。更に、主催するスポーツ教室において、市内スポーツ団体の指導者を積極的に活用することで、地域の人材育成と指導者確保を図っていく。	◎	・最近、国内のいくつかの競技団体でパワハラ等の問題が続発しているが、それを他人事と捉えてはならないと思う。常総市においてそのような事態を生じさせないために、指導者の資質向上を目指した研修を充実させていただきたい。
	活動団体への支援	<p>常総市体育協会及び常総市スポーツ少年団の事務局として、加盟するスポーツ団体や会員の交流並びに自主事業の運営を実施。また、団体運営のための補助金申請事務を実施。</p> <p>【補助金交付額】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①体育協会 2,000,000円</li> <li>②スポーツ少年団 1,000,000円</li> </ul> <p>【加盟団体数及び会員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①体育協会 36団体 2,398人</li> <li>②スポーツ少年団 38団体 878人</li> </ul>	○	少子高齢化の進む中、自主的な組織運営が図られ、会員の増加に向け継続的に支援を実施していく。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	総合型地域スポーツクラブへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動施設の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育施設の利用許可</li> <li>・社会体育施設の優先予約</li> </ul> </li> <li>○経済的支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育施設の使用料免除</li> </ul> </li> <li>○活動事業への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツクラブ主催事業のお知らせ版への掲載</li> </ul> </li> </ul>	○	今後も活動場所の確保や活動のPR等による支援を継続していく。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③スポーツ活動の促進						
	生涯スポーツの普及	<p>○スポーツ教室の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催教室募集定員 1,430人</li> <li>・参加者数 865人</li> <li>・参加率 60.4%</li> <li>・事業費 1,160,000円</li> </ul> <p>【スポーツ普及分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①柔剣道教室（柔道 36人，剣道 33人）</li> <li>②ジュニアハンドボール教室（前期 48人，後期 63人）</li> <li>③レディースゴルフ教室（前期 33人，後期 15人）</li> <li>④硬式テニス教室 19人</li> <li>⑤卓球教室 35人</li> </ul> <p>【健康推進分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①健康水泳教室（年間32日間 377人）</li> <li>②アクアビクス教室（前期 40人，後期 40人）</li> <li>③太極拳教室（33人）</li> <li>④シェイプアップ教室（73人）</li> <li>⑤ウォーキング教室（20人）</li> </ul>	○	開催する各種スポーツ教室の種目が定着し、応募者の低下傾向にあるため、今後は、市民のニーズに合った新たな種目を検討しながら実施していく。	◎	・高齢化が進む中で、高齢者向けの事業内容をより一層工夫する必要性が高まっているのではないだろうか。特に健康推進分野は大切であろう。
	スポーツイベントの開催	<p>○平成29年度親子deいきいきスポーツフェスタの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※事業費 1,156,401円</li> <li>内 スポーツ振興くじ助成金 836,000円</li> <li>※参加者数 1,250人</li> </ul>	○	参加者の減少が大きな課題となっているため、新たなプログラムを検討し、活気あふれるイベントして実施する。	◎	
	自主企画の推進	○市内各種スポーツ団体への活動補助金交付 16団体 660,000円	○	継続	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
	競技スポーツの振興	国体記念 第44回常総市長杯争奪 茨城県中学校ハンドボール大会開催 ※参加校 男子19校 女子16校 合計35校 ※事業費 444,800円 (市負担 289,800円)	○	地域の特色あるスポーツとして、大会運営の演出を工夫し、更なる充実と競技力向上に向け継続していく。	◎	
④平成31年度第74回国民体育大会開催準備の推進	○いきいき茨城ゆめ国体守谷市・常総市・坂東市実行委員会への負担金交付 ※負担金額 15,000,000円 ①啓発活動 ・マスコットキャラクターによる市内各種イベントでの啓発活動 ・啓発商品の販売 ・国体ダンスの普及促進 ・市内小中学校及び公共施設での花いっぱい運動の展開 ②競技大会の招致 ・関東学生ハンドボール秋季リーグの開催 ・日本ハンドボールリーグの開催 ③先催都市視察 ・福井リハーサル大会 福井市, 永平寺市 ・愛媛国体視察 松山市, 西条市 ・事業説明会への参加 西条市	○	国体開催に向け、市民が積極的に参画し、行政と市民が一体となり、開催気運の高揚が図れるよう継続して実施していく。	◎	・大会のスムーズな運営、及び参加選手・役員等への対応について、遺漏のないように準備を進めてほしい。	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
5	健康を増進する食育の充実					
①学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒一人一人が健康な生活を送れるように安全安心な給食提供の充実を目指すと共に、郷土への関心を深め、自然の恵みや働く人々への感謝の心を養うために地産地消の推進を実施した。</li> <li>・給食提供回数 豊岡1日3,264食年194回 玉 1日3,191食年194回</li> <li>・地場産物会議の実施 年11回</li> <li>・常総市産 米・100%, 野菜・約30%</li> <li>・玉給食センターでは、指名競争入札により、調理・配送・ボイラー業務を一括して民間委託契約した。 契約期間 H30.4.1~H33.3.31 契約金額 202,792千円</li> <li>・ガスフライヤー（揚げ物機）を購入、冷凍庫ユニット交換等、調理機器の更新、修繕。（豊岡給食センター）</li> <li>・冷蔵庫を購入、冷凍庫の修理等、調理機器の更新、修繕。（玉給食センター）</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食は安全安心が基本である。そのうえで給食内容について児童生徒の要望にどう応えていくかも大きな課題ではないかと考える。</li> </ul>	
②学校給食の安全・安心	<p>「学校衛生管理基準」等に基づいた適切な衛生管理や保菌検査を実施し、食中毒発生を防止した。また、給食食材においても安全な食材を購入し、放射能測定検査を実施し、市ホームページに公表した。給食業務従事職員の更なる資質向上のため、各種研修に積極的に参加した。</p> <p><b>【保菌検査】</b> 対象者：給食業務従事者（学校を含む） 保菌検査（5項目） 毎月2回 ノロウイルス（10～3月） 毎月1回</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡学校給食センター 1,216千円</li> <li>・玉学校給食センター 2,019千円 （直営のため調理、配送職員含む）</li> </ul> <p><b>【食材の放射能測定検査】</b> 野菜は月10回程度、学校給食完成品の1食分の全品検査を月4回実施し、市ホームページに公表した。</p>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食は、作る側だけでなく、受け入れる側（学校）の給食業務従事者の衛生管理も重要であると考え。学校給食の衛生管理をさらに向上させるよう工夫を重ねていただきたい。</li> </ul>	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
③学校・家庭・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭等による学校・家庭・地域社会を含めた、食生活に対する正しい知識を持った児童生徒の育成、並びに、家庭教育学級等において保護者を対象とした食育の啓発・推進を実施した。</li> <li>・小学1年生を対象に親子給食・家庭教育学級（講話）を実施。小学4年～6年生を対象に給食ふれあい体験を実施した。</li> <li>・献立表に「給食だより」を掲載し、季節に合った最新情報を提供した。</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育の基本は、各家庭の食生活にあると考える。その視点を大事にし、家庭教育学級等での啓発活動を充実させるよう努力願いたい。</li> </ul>	
④食物アレルギーへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・献立表への使用食材の記載、「アレルギー配合表」の配付等により、情報の提供を行うと共に学校や保護者との緊密な連携を図り、食物アレルギーへの対応に努めた。</li> <li>・学校・保護者・給食センターによる3者面談も実施</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数ではあるが、食物アレルギーの子どもがいる。事故を防ぐために細心の注意を払っていただきたい。その点については、学校・保護者・給食センターによる三者面談が実施されているのは良いことである。</li> </ul>	
6 心豊かにする読書教育の充実						
①読書教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」の推奨と表彰</li> <li>・国語科教科書教材との並行読書を授業へ取り入れた。</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活字離れ対策として「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」等の事業は図書館とも協力して継続していただきたい。</li> <li>また、「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」については、冊数だけでなく本の厚さなど読書の質の面にも視点を置いていることは良い方針であると思う。</li> </ul>	



区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
②図書館活動の推進						
	図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養，娯楽，生涯学習活動を支える中核施設として，市民のニーズに応えた情報収集や資料の提供に努めた。</li> <li>H29年度の資料購入費：10,694千円</li> <li>【蔵書数】：135,404冊 (前年度は130,903冊で，4,501冊の増加)</li> <li>【視聴覚資料数】：11,265点 (前年度10,973点で，292点の増加)</li> <li>【年間利用者数】：29,573人</li> <li>【年間貸出点数】：139,778点</li> </ul>	○	継続	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の利用が増えているようである。高齢者の利用しやすい施設にするよう努力することも今日的課題であるとする。</li> <li>一例をあげれば，書架の最下段の本を探しやすくするための工夫などである。</li> <li>・合併して10年以上が経過した。石下地区のいずれかの施設に市立図書館の分館を整備すべき時期に来ているのではないだろうか。地域交流センターの図書室では，石下地区住民の読書意欲に応えられるようなサービスは難しいと思われる。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館へのアクセス機能（HPやインターネットでの蔵書検索や貸出しの予約）や，調査，参考業務（レファレンス）の充実に向けては，図書館情報システムの更新に合わせ，本棚機能を追加するなど，より魅力的なホームページを展開している。また，県外からの相互貸借にも対応し，幅広いサービスに努めてきた。</li> </ul>	○	継続	◎	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>【年間を通しての自主事業】</li> <li>・レコスモスによる二水会館でのコンサート（6/4）</li> <li>・ボランティアとの連携によるクリスマス会（12/17）</li> <li>・赤ちゃんとあそぼう（毎月1回開催） →乳幼児と保護者を対象とした，赤ちゃんへの職員による読み聞かせを行った。</li> <li>・一日図書館員（市内小学生の体験学習）</li> <li>・職場体験学習（市内外中高生の体験学習）</li> <li>・不要図書の利活用としてリクルフェア（H29は，9/30～10/1に開催した。）</li> <li>・図書館見学（市内小学生の施設見学） (H29は，絹西小・三妻小・大花羽小・豊田小・水海道小)</li> <li>・移動博物館（1/23～2/4に開催） →茨城県自然博物館と連携し，図書館内に博物館所蔵の標本などを展示し，体験講座も実施した。</li> </ul>	○	継続（移動博物館以外）	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<p>【図書館開館35周年記念事業】 直木賞受賞作家の道尾秀介氏の講演会 (聴講者121人) 人気絵本作家の宮西達也氏の講演会 (聴講者125人) (図書館2階の視聴覚室及びギャラリーに於いて開催。)</p>	○	記念事業については、今後も検討していく。	◎	
		<p>・平成30年度からの図書館情報システムの更新に向けての調達業務については、プロポーザルによる業者選定をした。(合わせて図書館のホームページもリニューアルし、新たに「マイ本棚」等の新しい機能も追加する予定。)</p>	○	図書館情報システムについては、今後も検討していく。	◎	
		<p>・子育て支援との連携として、市保健推進課が実施している12か月児の健診の際に、絵本を介した親子のふれあい深めてもらうことを目的としたブックスタート(読み聞かせ)を行い、絵本をプレゼントした。 常総市保健センター(毎月1回) 石下総合福祉センター(年4回) 【参加者】395組の親子 絵本・イラスト・グッズ集 224千円</p>	○	継続	◎	
		<p>・市内小中学校の学校図書館への配本 5月 大生小学校(500冊) 7月 水海道西中学校(900冊) 9月 水海道小学校(900冊) を実施した。これにより、市内全校配本の一巡目が終了した。</p>	○	平成30年度より、希望校のみの配本とする。	◎	
		<p>・保育所、幼稚園への巡回配本については、6月より隔月での配本を実施した。</p>	○	今後も隔月で配本を実施していく	◎	
		<p>・市内の学校、幼稚園、保育所及び児童クラブへの読み聞かせボランティアの派遣については、各施設の希望により、延べ266回の派遣を行い、6,665人の参加があった。</p>	○	今後も、派遣依頼を受けた施設に対し、読み聞かせボランティアを派遣する。	◎	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
図書館サービス網の強化	・読書団体、子ども文庫等と連携した団体貸出の活動強化については、読み聞かせボランティア等への貸出を実施した。	○	今後も読み聞かせボランティア団体等に貸出を行う。	◎		
	・小中学校の児童や生徒への市立図書館の利用促進としては、「小中学校のための常総市立図書館の活用案内」を作成し、各学校へ配布した。 ・図書館内において、ボランティアと連携した小学校低学年以下への「おはなし会」を行ったり、「わたしのおすすめの絵本」を募集して、館内で展示発表を行った。	○	継続	◎		
	・図書館HPの充実、図書館利用のPRについては、8月のお知らせ版配布時に、チラシを全戸配布し、新規利用者の掘り起しを行った。	△	平成30年度のシステム更新に合わせて、HPの再構築を行う。	○		
	・インターネット環境のサービスの提供については、館内において来館者が利用できるインターネット接続用のPCを2台配置した。 ・参考図書コーナーでのFreeWi-Fi接続のサービス提供を行った。	○	継続	◎		
	・ビジネス支援のための資料収集 ビジネス支援コーナーにおいて、本・雑誌・チラシを配架。また、毎週初めにはハローワークから求職情報のチラシを提供いただいている。 ・ビジネス関連新聞の配架と、データベースでも日経テレコン21を提供している。	○	今後は、予算の見直しの結果、ビジネス新聞の3タイトル、及び日経テレコン21の購読を廃止する予定。	◎		
	・図書館2階の視聴覚室、集会室、和室を「常総ほっとサタデー教室」やボランティア活動に開放したり、使用予定が無いときには、視聴覚室、集会室を学習室として開放した。	○	継続	◎		

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>雑誌スポンサー制度による雑誌の充実 平成29年度における雑誌スポンサーは4社7誌であった。市への収入も見込まれるものであり、引き続き募集を行っていく。</li> </ul>	○	今後も引き続き募集していく。	◎	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせボランティア育成と活用の推進については、取手市で読み聞かせや学習ボランティア等の活動をしている柴谷不二子氏を迎え、スキルアップの為の研修会を2回開催した。 H29. 7/14 (初級講座) H30. 2/6 (上級講座)</li> </ul>	○	育成のための研修については、各ボランティア団体からの要望もあり、今後も実施していきたい。	◎	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域交流センター図書室とのシステム統一について検討をしたが、システムの統一はできなかった。</li> </ul>	×	平成30年度の図書館システム更新に合わせての統合は見送りとなったため、今後の検討課題とする。	×	

7 安心して子育てできる就学前教育の充実						
①子どもの自主性・自立性の芽生えを支援する幼児教育の実施	「遊び」を通じた学びの充実に向けた助言・指導	○	継続	◎	・就学前の園児を扱う教員の仕事はとにかく児童と一緒にいることである。変化に気づく敏感な感受性が必要である。	
②保幼小中の連携	発達や学びの連続性を踏まえた幼児教育と小中学校の円滑な接続に向けたアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの作成	△	継続	○	・小学校へスムーズに接続できるようにアプローチとスタートのカリキュラムの工夫をすることが大切である。	
③就学前家庭教育の推進	公立幼稚園全園において家庭教育学級を実施	○	H29に実施した5園のほか、市内の幼稚園・保育所(園)で実施を予定。さらには希望する企業で実施も検討。	◎	・子育てに不安を持つ親にとって家庭教育学級は心の支えになる。親の不安を払拭、軽減できるような内容や学級運営を望む。	

区分	事務の内容	管理及び執行の状況	点検		評価	
			達成度	方向性	有効性	意見
④教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園統合について、庁内関係課との協議，市内の幼保事業者へのヒアリング実施し，方向性の再検討を行った。東部地区1園，西部地区1園を大規模改修（耐震改修やエアコン整備等）し統合する方針案を決定。</li> <li>・園児の安全を第一に施設の修繕を優先的に実施した。</li> <li>工事件数：28件 工事費：4,426千円</li> <li>・一般備品購入 153千円</li> <li>教材備品購入 249千円</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記基本方針のもと，統合を進める。</li> <li>・再編・統合計画の進捗を見極めながらも，危険箇所等の修繕は実施する。</li> <li>・備品整備は継続</li> </ul>	◎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児の安全が第一であることは言うまでもない。施設の安全点検，修理は優先的に行ってほしい。</li> </ul>	